

令和6年度当初予算案主要事項（令和5年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	公立学校情報機器整備等基金積立金		新規・ 継続の別	新規										
予算額	7,273,000千円 (うち2月補正1,469,000千円)	国庫	起債	その他	一般財源									
		7,273,000	—	—	—									
事業内容 (目的 対象 方法等)	<p>1 目的 学校教育の情報化の推進のために必要な情報通信機器その他の機器の整備等に要する経費の財源に充てるため、「京都府公立学校情報機器整備等基金」を設置する。</p> <p>2 基金の概要 (単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>事項</th> <th>内容</th> <th>積立金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童生徒1人1台 端末の整備</td> <td>誰一人取り残すことのない、一人一人に応じた個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、児童生徒1人1台端末の整備を実施</td> <td style="text-align: center;">7,261,000</td> </tr> <tr> <td>入出力支援装置の 整備</td> <td>視覚や聴覚、身体等に障害のある児童生徒の障害に対応した入出力支援装置の整備を実施</td> <td style="text-align: center;">12,000</td> </tr> </tbody> </table>					事項	内容	積立金	児童生徒1人1台 端末の整備	誰一人取り残すことのない、一人一人に応じた個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、児童生徒1人1台端末の整備を実施	7,261,000	入出力支援装置の 整備	視覚や聴覚、身体等に障害のある児童生徒の障害に対応した入出力支援装置の整備を実施	12,000
	事項	内容	積立金											
	児童生徒1人1台 端末の整備	誰一人取り残すことのない、一人一人に応じた個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、児童生徒1人1台端末の整備を実施	7,261,000											
入出力支援装置の 整備	視覚や聴覚、身体等に障害のある児童生徒の障害に対応した入出力支援装置の整備を実施	12,000												
担当課名	ICT教育推進課 企画係 特別支援教育課 企画調整係	電話番号	075-414-5693 075-414-5834											